

こんな活動です

# ふるさとを愛し、自ら夢を持ち、心豊かでたくましく生きる塩浜っ子

千葉県市川市		●活動名 塩浜学園 はまっこくらぶ・はまっこサポート			●関係する学校名 市川市立塩浜学園		
協働活動開始年度	平成 25 年度	関係学校数	1 校	のべ学級数	13 学級	のべ児童・生徒数	337 人
活動区分	学校支援活動		地域課題解決学習		地域人材育成		
	—		放課後子供教室				
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数		地域学校協働活動推進員等の数		配置人数		
	1人				1人		
学校運営協議会	指定・設置日		ボランティアの数	延べ登録人数	企業・NPO等との連携	有	
	平成28年5月12日設置			150人			
参考URL	<a href="http://www.shiohama-tyu.ichikawa-school.ed.jp/">http://www.shiohama-tyu.ichikawa-school.ed.jp/</a>						
●連絡先	市川市立塩浜学園			☎ 047-397-4421			

●体制図



●活動の概要・経緯  
平成25年度に「学校支援コーディネーター」が配置され、学校支援活動が一層推進されてきた。同時期に「小中一貫校設置検討委員会」が発足し、小中の学びの連続性を重要視してきた。その後、平成27年度に小中一貫校「塩浜学園」として開校し、平成28年度に千葉県内初の義務教育学校となったと同時に、学校運営協議会を設置し、市川市初のコミュニティ・スクールとして、研究モデル校として地域と学校の連携・協働を推進してきた。地域学校協働活動推進員を2名配置し(うち、1名は統括)、地域学校協働本部を「はまっこ・サポート」と名付け、地域にある団体との連携・協働を進めている。また、9年間を貫くカリキュラム「塩浜ふるさと防災科」の学習の中で、地域との関わりを多く持った活動が展開されている。

●活動の特徴・工夫

【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

- ◎塩浜ふるさと防災科  
9年間を貫く学習で、地域、防災について学ぶ。8～9年生はゼミ形式(塩ふるゼミ)で実施。
- ◎はまっこ・サポート(地域学校協働本部)  
・他団体とのネットワークを活かし、協力・共催するなど、開催方法を工夫し、多くの活動を展開している。
- ◎はまっこ・夢・大学  
聖徳大学の教授陣の他、様々な方を講師に迎え、公開講座を実施することで地域の文化センター機能を担うとともに、はまっこくらぶのボランティアの育成も担っている。

【実施に当たっての工夫】

小規模校で学区も小さく、大部分が住宅公団と市営住宅から成り立っている地域である。学校運営協議会は、地域の核となる団体の代表者が多く、それをまとめる会長には、聖徳大学・聖徳大学短期大学部 増井三夫 副学長が務めている。学校運営協議会＝地域学校協働本部の関係性が成り立ち、地域と学校の連携・協働が進みやすい状況である。年間5回の会議では、深い協議がなされている。まさに、地域の声を学校運営に反映させている。また、塩浜学園の独自科目である「塩浜ふるさと防災科」を進めていく中で、地域との連携・協働を意識した取組がなされている。はまっこ・サポートでは、学園の行事をサポートし、地域と近隣の高校・団体と協働して塩浜まつりを企画・実行している。また、はまっこ・夢・大学では、地域課題の解決に資する講座の開催を通じて、塩浜学園への興味関心を高め、学園へのサポート・ボランティア協力を募っている。

●地域学校協働活動を実施しての効果・成果

学校運営協議会の強力なバックアップの元、様々な取組を行う事が出来た。塩浜ふるさと防災科では、地域の活性化をテーマに取り組んだ7～8年生が、マンション内にあるNPOが運営するカフェと連携し、地域行事を主催するなど、学校が積極的に地域と連携・協働を進めることで、学園への興味関心が高まり、地域住民のサポートやボランティア協力者が集まりやすくなってきている。また、地域での行事(ラジオ体操・夏祭り)の活性化も見られている。地域にある様々な団体のネットワークが強まり、学校の活動に参画する機会が増え、教育活動に幅と厚みが出てきている。また、地域住民にとって、学校が核となり、個々の生きがいづくりにつながり、学校を核とした地域振興が醸成されてきている。

●その他

2020年8月の新校舎完成に向け、塩浜学園に期待する地域の思いが大きくなってきています。



塩浜ふるさと防災科の「ハロウィン地域活性化ゼミ」が開催された。



「はまっこ・夢・大学」の講座を開催した。